

まちの あれこれ

北海道芽室町と災害時 応援協定を締結しました

2月15日（水）、池田町と北海道芽室町との間において「災害時等の相互応援に関する協定」の締結式が行われました。

この協定は大規模災害発生時に被災した町の要請に応じて相互に応援、協力を行うもので、その内容は救助活動や復旧に必要な資機材や食料などの提供、職員の派遣などが盛り込まれています。

郡内の揖斐川町が既に芽室町と応援

協定を締結している縁もあり、揖斐郡の残りの2町においても連携を強化しようとして働きかけ、今回は池田町と大野町が同時に協定締結の運びとなりました。

池田町に

おける応援協定の締結は、福島県国見町、京都府宇治田原町に続いて3例目となり、今後も災害時の応急体制の強化を図ります。



ご寄付ありがとうございました

池田町商工会様より、2月11日（土・祝）に開催された『城之内早苗歌謡ショー』でのチャリティバザーの売上金と募金合わせて98,174円を地域福祉基金にご寄付いただきました。

また、福祉施設に入所されている132人の方が歌謡ショーに招待されました。



公益財団法人西濃信用金庫奨学会より、各小中学校の読書活動推進にと200,000円をご寄付いただきました。

ありがとうございます。



95歳おめでとございます



柳生 なみゑさん
(砂畑)

大正11年2月21日生

町長が自宅を訪れると「本当にありがとうございます。長生きしてよかったです。」と何度もお礼を言われたなみゑさん。家族の方も「95歳を迎えることができ目頭が熱くなりませ。」とお話になりました。町長から「食事はしっかり食べていますか。」と聞かれると「どんなに遊んでいてもご飯は忘れないです。」と笑いながら答えられました。

日頃は、眼鏡を使うことなく新聞を読んだり、テレビを見たりして過ごされているそうです。また、歌を歌うことが好きでこの時は童謡「春が来た」を披露してくださいました。

「規則正しい生活をするのは、健康にも良いのでこれからも是非続けていただきたい100歳目指して頑張ってください。」と町長から言われると「そうですね。4年後には東京オリンピックもあるので頑張ります。」と答えられました。



森 茂雄さん
(小寺)

大正11年2月22日生

「今日はありがとうございます。」と、町長を迎えられた茂雄さん。若い頃に戦場にて爆弾の被害に遭われ、「医者に30歳までに死んでしまいかもしいれな」と言われたこともありましたが、95歳まで生きることができて嬉しいですね。」とお話になりました。

現在は、週に2回ご夫婦でデイサービスに通われ、普段は俳句や書道、畑仕事をして過ごされているそうです。

「5年後には奥さんが95歳で、茂雄さんも100歳になられるので一緒に祝いができますね。これからも元気でいてください。」と町長が言われると「そうですね。ありがとうございます。」と笑顔で答えられました。